

# 2019 年度臨床精神科作業療法研究会研修会

## 作業療法臨床におけるスーパーバイズと事例検討を考える

### ～臨床実習が変わる！変革の時の今、その意義とは～

臨床家としての専門的な力量を身につけていく過程でもっとも重視されているのは、上級者からのスーパーバイズと事例検討を通しての学びであることには異論がないと思われます。

そこでは、ある臨床家（あるいは学生）が実際に行った臨床実践の過程が提示され、意見や質問、コメントを伝え合うことなどを通して、事例の理解を深め、その後の臨床に生かすという学びと成長の好サイクルが得られるからです。

本研修会第1部では、2020年度新入学生から新たに適用される、理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドラインに従って臨床実習はどう変わるのか、スーパーバイザーとして学生と向き合う私たちに何が求められるのか、日本作業療法士協会副会長の香山明美氏に講演していただきます。

第2部では、臨床家自身の学びと成長につながる事例検討会の意義と実際の方法、事例を提供する際やスーパーバイザーとしての留意点などを一緒に考えてみたいと思います。

多くの方々と情報交換ができる貴重な機会にもなるかと思えます。ぜひご参加ください。

■日時：2019年11月23日（土）第1部：10：30～12：30 第2部：13：30～17：00

■会場：東北福祉大学せんだんホスピタル 大会議室  
仙台市青葉区国見ヶ丘6丁目65番8号

#### ■プログラム

##### 第1部 10時30分～12時30分（10時受付開始）

講演：「臨床実習はどう変わるのか ー望まれるスーパーバイザーのありかたー」

講師： 香山明美（東北文化学園大学 教授 日本作業療法士協会副会長 OTR）

司会： 銀山章代（四条畷学園大学 教授 OTR）

##### 第2部 13時30分～17時00分（13時受付開始）

シンポジウム「事例検討会から学ぶ」 ※演題名は変更の場合があります

「事例検討会とスーパービジョン」 青山 宏（臨床精神科作業療法研究会 代表 OTR）

「作業療法と事例検討」 大橋秀行（南浜中央病院 埼玉県立大学名誉教授 OTR）

「事例検討方法論」 稲毛義憲（東北福祉大学 せんだんホスピタル OTR）

「事例検討会を続けるための工夫」 佐藤知生（かなやの里 OTR）

「参加者として・発表者として思うこと」 梅津雄志（一陽会病院 OTR）

「事例提供の経験から得られること」 鈴木扶希（東北福祉大学 せんだんホスピタル OTR）

「スーパーバイザーとしての心構え」 五十嵐善雄（ヒップメンタルクリニック院長 精神科医 当会顧問）

《参加対象者》 保健・医療・福祉関係者（学生は会員による紹介が必要です）

#### 《参加費》

第1部 講演会 当会会員 1,500円 非会員 2,000円 学生 300円

第2部 シンポジウム 1,500円 2,000円 300円

1部・2部通し 2,000円 3,000円 500円

懇親会：（会員・非会員とも） 4,000円（仙台駅前を予定しています）

※当研修会は日本作業療法士協会生涯教育ポイントの対象となります

